

1年 算数科学習指導案（略案）

3 校時 1年 1組
授業者 S 先生

- 1、単元名 広さ比べ（発展）
- 2、単元のねらい ・パターンブロックで作った形の広さ比べの活動を通して、任意単位による広さ比べの良さを確認する。
- 3、単元計画 1時間扱いの1時間目
- 4、本時の目標 ・二つの形の広さ比べを、パターンブロックの1片を任意単位として考えることができる。
- 5、本時の展開

	学習活動 ・主発問	指導上の留意点 ・留意点 ☆評価
5	<p>1、二つの形（六角形・台形）の広さ比べをパターンブロックを使ってやってみよう。</p> <p>・二つの形に名前を付けよう。</p> <p>どちらが広いか予想しよう。</p>	<p>・パターンブロック（2人に1つずつ）と二つの図形を印刷した紙を用意する。</p> <p>☆今までの経験の中から、形の名前を考えることができる。</p>
15	<p>2、ブロックを使って広さ比べをしよう。</p> <p>・困ったときは、どうしたら比べられるか隣と2人で考えよう。</p>	<p>・ブロックの置き替えや移動は自由に行って良いことを知らせる。</p> <p>☆広さ比べの学習を想起して、考えられる。</p> <p>・ブロックの数が足りないときは、二人で協力</p> <p>・できたら、わが、たことノートに書かせる</p>
20	<p>3、比べ方を発表しよう</p> <p>・1方の図形からブロックを移動して比べる。（直接比較）</p> <p>・1種類のブロックで敷き詰め、その数で比べる。</p> <p>・2種類以上のブロックを組み合わせで考える。</p>	<p>☆それぞれの考え方の良さに気付くことができる。</p> <p>☆緑6個、青3個、赤2個でそれぞれ黄色の六角形と同じ広さになることを利用できる。（経験済み）</p>
5	<p>4、今日の学習で分かったことや思ったことをノートに書こう。</p>	<p>・友達の良い考えや、感想などを書かせる。</p>

1年「パターンブロックによるひろさくらべ」授業記録

H、24、1、18

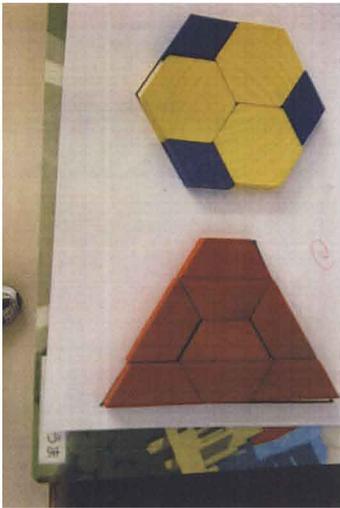
	授業の流れ・主な発問	児童の反応
5	<p>1、課題を知る</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> パターンブロックで、ひろさくらべをしよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・二つの形に名前を付けよう。(六角形・台形) ・どちらが広いか予想しよう。 ・どうしたら広さ比べができるでしょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートに課題を書く。 <p>c 六角形 c スカート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・六角形・・・6人 ・台形・・・15人程度 ・同じ・・・4人 <p>c 紙にブロックを置く。 c ブロックで形を作る。</p>
15	<p>2、ブロックを使って広さ比べをしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どちらが広いか分かったら、ノートに分かったことを書こう。 	<p><ブロックを使って自由に操作する。></p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろなブロックで形を作る。 ・いろいろなブロックを使ってきれいに形を作る(森田) ・既習の広さ比べを思い出し、1つの種類のブロックで両方の形を作る。 ・それぞれの形を、1種類のブロックで作る。 ・台形のブロックを、六角形のブロックの上に並べ直して比べる。
	<p>3、比べ方を発表しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どちらが広かったですか ・どうやって比べたか説明してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで一緒に数えてみよう。 ・赤・緑の他の色でやった人はいますか。 	<p>c 六角形・・・2人 ①説明できない</p> <p>c 同じ色でないと比べられないから赤のブロックを並べたら、六角形が8個、スカートが8個で同じだから、広さが同じと分かりました。②</p> <p>c 緑のブロックを並べたら六角形は27個、台形は28個だから、スカートの方が広いと分かりました。③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・六角形・・・1,2,3・・・24個 ・スカート・・・1,2,3・・・24個 同じ

<p>・六角形しかないけれど、これを使って広さ比べができないかな。</p> <p>・他の比べ方をした人はいませんか。</p> <p>・他の考えはありますか。</p> <p>・Kさんのブロックを見てどうやって考えたか分かる人。</p> <p>・Kさん、その考えでいいですか。</p> <p>4、今日の授業の感想を書こう。</p>	<p>c 青でやったけれど六角形しかできませんでした。 ④</p> <p>c 青のブロックは、緑のブロック2個と同じ大きさだから、緑のブロックでやったスカートを2個分でかぞえればいい。</p> <p>c 六角形の青のブロックを動かしてスカートに並べればいい。</p> <p>c 両方の形を作ってから、スカートのブロックを六角形のブロックの上に重ねてのせたら、余らなかつたので同じと分かりました。⑤</p> <p>K：ぼくはこう考えました。〈STOP〉⑥</p> <p>・3人挙手・・・(2分程度)・・・15人程度挙手</p> <p>c 両方とも、黄色が2つ、緑が9つ、赤が1つで同じだから、同じと分かります。</p> <p>K：いいです。</p> <p>・ノートに感想を書く。</p>
---	--

25

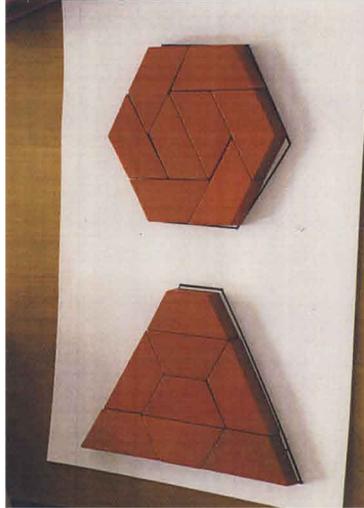
児童のノート

	広さ比べをして分かったこと	授業後の感想
A	六角形の上に、スカートのブロックを重ねて、余らなかつたら同じ大きさと分かりました。	パターンブロックの色で六角形やスカートの形ができることが分かりました。
M	同じでした。それは、同じブロックでやって、同じ数だったからです。	スカートと六角形は同じだということが分かりました。
N	<p>かんがえ①</p> <p>ぼくは最初に、下敷きに六角形を乗けて、スカートに乗けて、どっちが広い分かりました。</p> <p>かんがえ②</p> <p>同じ色なので、ぼくは緑を使えばできると気がつきました。</p>	ぼくは、青は六角形しか作れないので、緑を使えばできると気がつきました。
T	比べたら、8個と8個は同じ数だから、同じと分かりました。	今日の勉強は、大きいブロックでやると簡単でした。
E	私は、同じ色でやってみたら、8個ずつで一緒だった。	最後のKさんの意見はびっくりしました。全部答えが一緒でした。
O		同じパターンブロックじゃなくても、数が一緒ならできると言うことが分かりました。
S	私は、スカートが広いと思いました。でも、②さんや、③さんの意見を聞いてみると同じと分かりました。	私は、色が違うと同じかどうか分からなと思っていたのに、Kさんのを見てみると、色が違ってても数が一緒なら、同じだと分かりました。

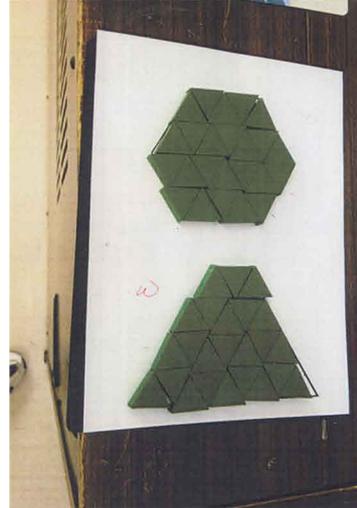


①

「六角形の方がひろい」
理由は言えない。

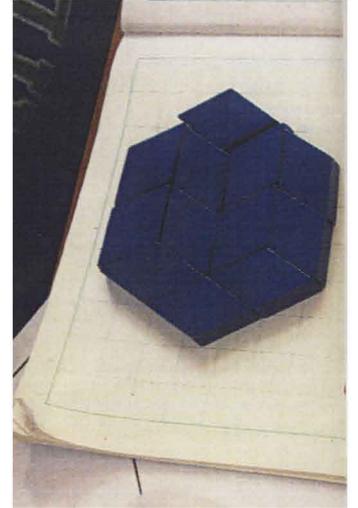


②



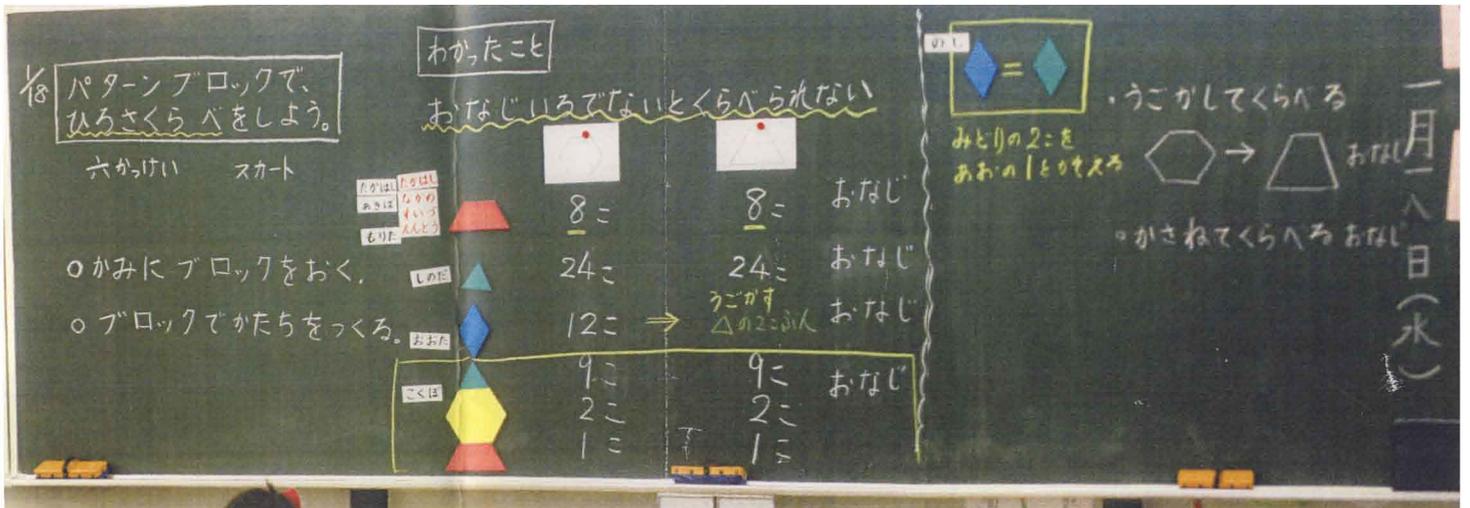
③

「六角形27 台形28で
台形が大きい」
⇒皆で数えなおしたら

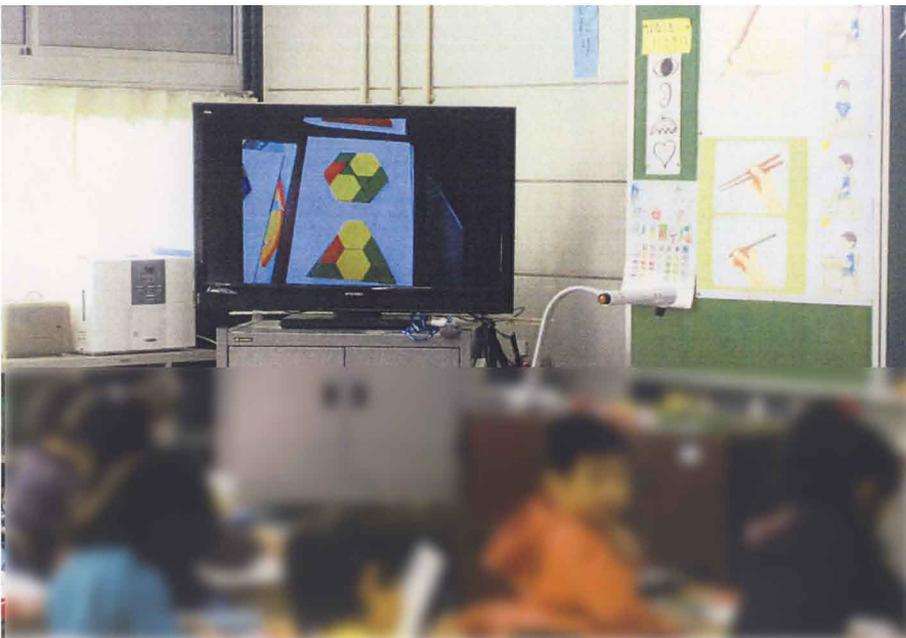


④

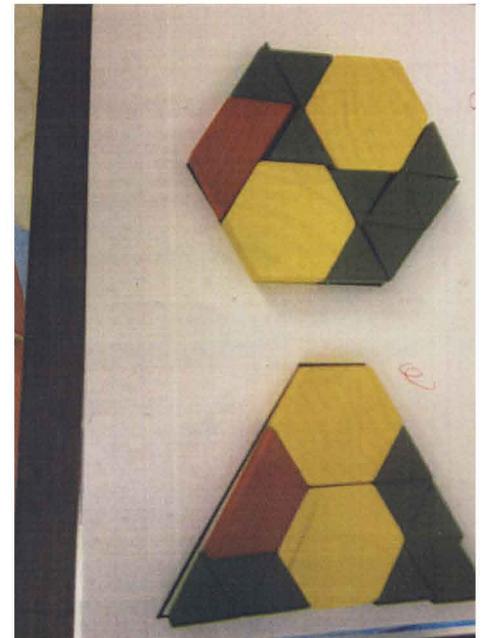
六角形は青で考える。



⑤



⑥ 「Kさんの考え方が分かる人？」 書画カメラで



⑦ 両方とも {緑9, 黄色2, 赤1}